

# モンゴル経済概況

---

(2017年1～3月)

2017年8月

日本貿易振興機構（ジェトロ）

海外調査部 中国北アジア課

## 【免責条項】

本資料で提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用下さい。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本資料で提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロは一切の責任を負いかねますので、ご了承下さい。

**禁無断転載**

# 目次

---

1. モンゴルの基礎データ
2. 最近の政治動向
3. GDP成長率の推移
4. 対外貿易の推移
5. 名目工業生産の伸び率
6. 貨物輸送量
7. 物価(CPI)
8. 歳入・歳出伸び率の推移
9. 貸出残高
10. M2の推移
11. 対ドル・対円の為替レート
12. 外貨準備高
13. 主要輸出入品目
14. 主要輸出相手国
15. 主要輸入相手国
16. 主要国・地域別直接投資残高
17. 主要国・地域別投資企業数
18. 主要業種別投資企業数
19. 日系企業進出事例
20. モンゴル企業の動向
21. 日本からの直接投資
22. 日本との貿易概況

# 1. モンゴルの基礎データ

---

国名：モンゴル国

面積：156万6,600平方キロメートル

人口：311万9,935人(2017年6月4日現在)

首都：ウランバートル

民族：モンゴル人(全体の95%)およびカザフ人等

言語：モンゴル語(公用語)、カザフ語

宗教：チベット仏教等(1992年2月の新憲法は信教の自由を保障)

政体：共和制(大統領制と議院内閣制の併用)

行政区分：21県、15省

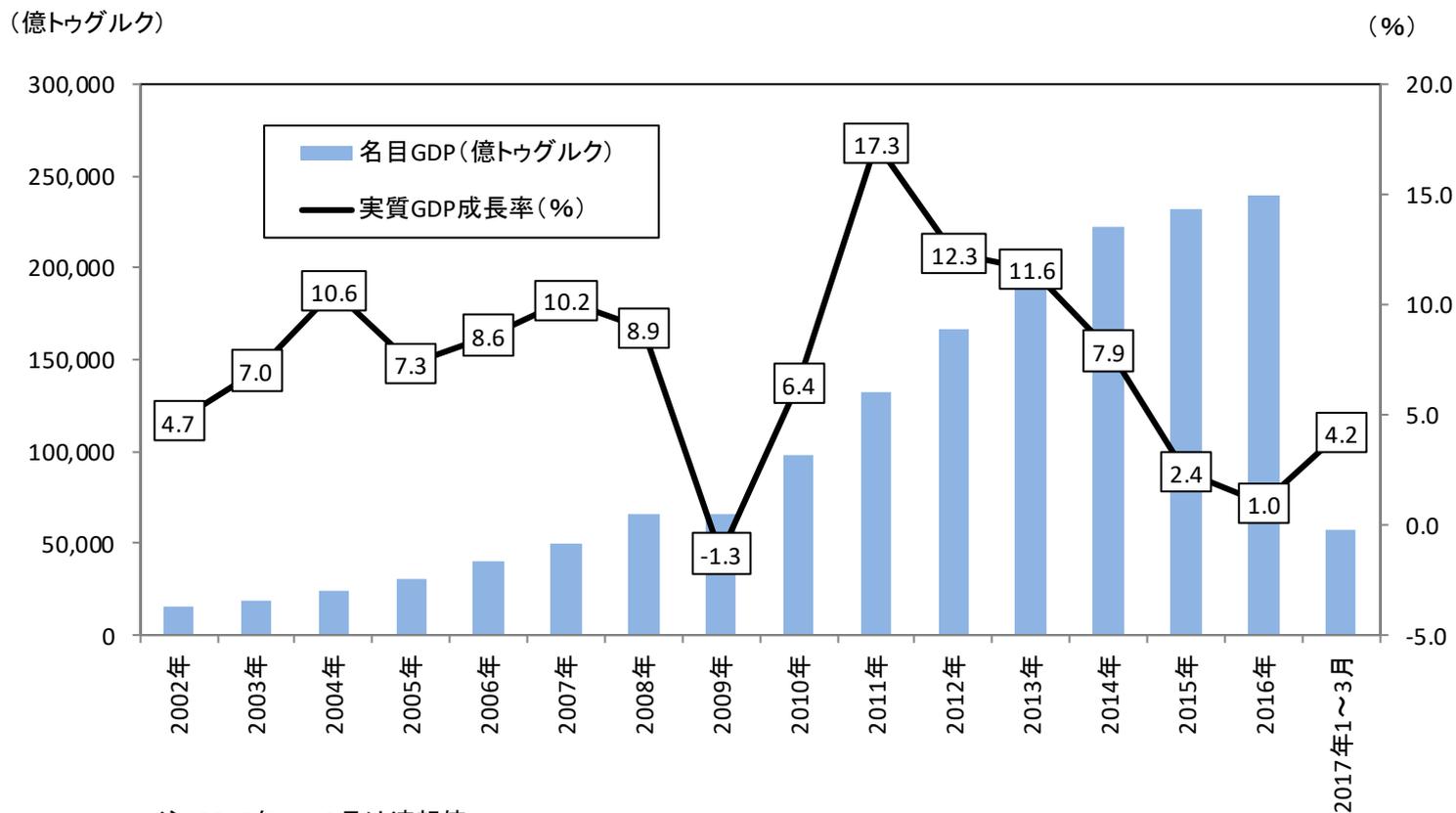
通貨：トゥグルク(100トゥグルク=約4.59円)(2017年6月4日現在)

## 2.最近の政治動向

- モンゴル国会大会議長エンフボルド氏は、2017年3月28日から3月31日にかけて日本を訪問した。エンフボルド議長は、安倍晋三内閣総理大臣を訪問し、日・モンゴル関係の一層の拡大・発展に尽力したい旨を述べ、両国が拉致問題、安保理改革等で引き続き緊密に協力していくことを改めて確認した。
- エルデネバト首相は、2017年5月12から15日にかけて中国政府の招へいを受けて中国を訪問した。エルデネバト首相は、北京の人民大会堂にて行われた28カ国、国連、IMF、世銀といった国際機関が集合した「一带一路（シルクロード経済ベルトと21世紀海上シルクロード）」国際協力サミットフォーラムに出席し、「発展に向けたインフラ協力」をテーマに発表し、中国の李克強国務院総理と主要投資企業と会見した。
- 2017年5月25日 モンゴル政府とIMFの実務レベルでの合意が発表されていたEFF措置がIMFの理事会にて公式に承認された。IMFは、モンゴルの経済改革を支援するため、3億1450万5000SDR（約4億3430万米ドル、クォータの435%）の新規3年間の拡大信用供与措置（EFF）を提供する。EFFの下、アジア開発銀行、世界銀行、日本及び韓国など他の融資パートナーも予算及びプロジェクトの支援を供与すること決定し、中国人民銀行はモンゴル銀行とのスワップラインを延長することに合意した。パッケージの規模は合計約55億ドルに達する。
- エルデネバト首相は、2017年6月1日から3日にかけてロシア政府の招へいを受けてロシアのサンクトペテルブルク市にて実施される第21回ペテルブルグ国際経済フォーラムに出席した。エルデネバト首相は、同フォーラム開会式で「発展をめざしたインフラ協力」をテーマに発表し、出席企業・各国の代表等と面会した。
- 2017年6月26日、モンゴルの大統領選挙が行われた。今回の選挙では、2016年6月の総選挙で29議席を失い政権から退いた民主党の元食糧大臣バートルガ氏、同選挙で65議席を取得した与党人民党の現国会議長・党首エンフボルド氏、1議席をもつ革命党元労働国民党首のガンバートル氏の3候補の接戦となった。バートルガ氏が首位（得票率38.1%）となったが過半に達しなかったため、2位（エンフボルド氏）との決選投票を7月7日に実施した。決選投票の結果、最大野党・民主党のバートルガ氏が当選した。

# 3.GDP成長率の推移

2017年1～3月における実質GDP成長率<sup>注1</sup>は4.2%で、前年同年比3.2ポイント加速した。名目GDPは5兆7,264億トウグルクだった。



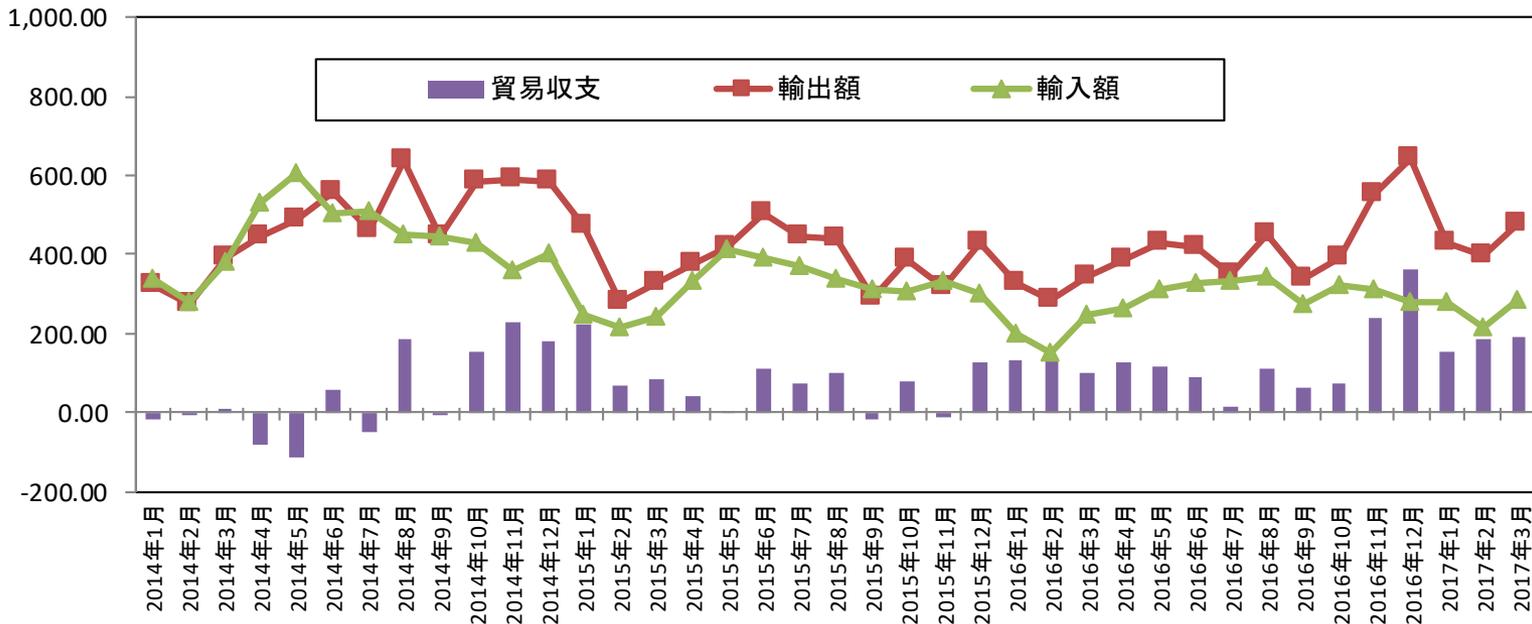
注: 2017年1～3月は速報値

出所: 国家統計局

# 4. 対外貿易の推移

2017年1～3月の貿易総額は、前年同期比5億1,810万ドル(33.3%)増の20億7,610万ドルに達した。貿易総額の内、輸出額が35.6%増の12億9,990万ドル、輸入額が29.6%増の7億7,620万ドルである。(注:前年同期比は試算値)

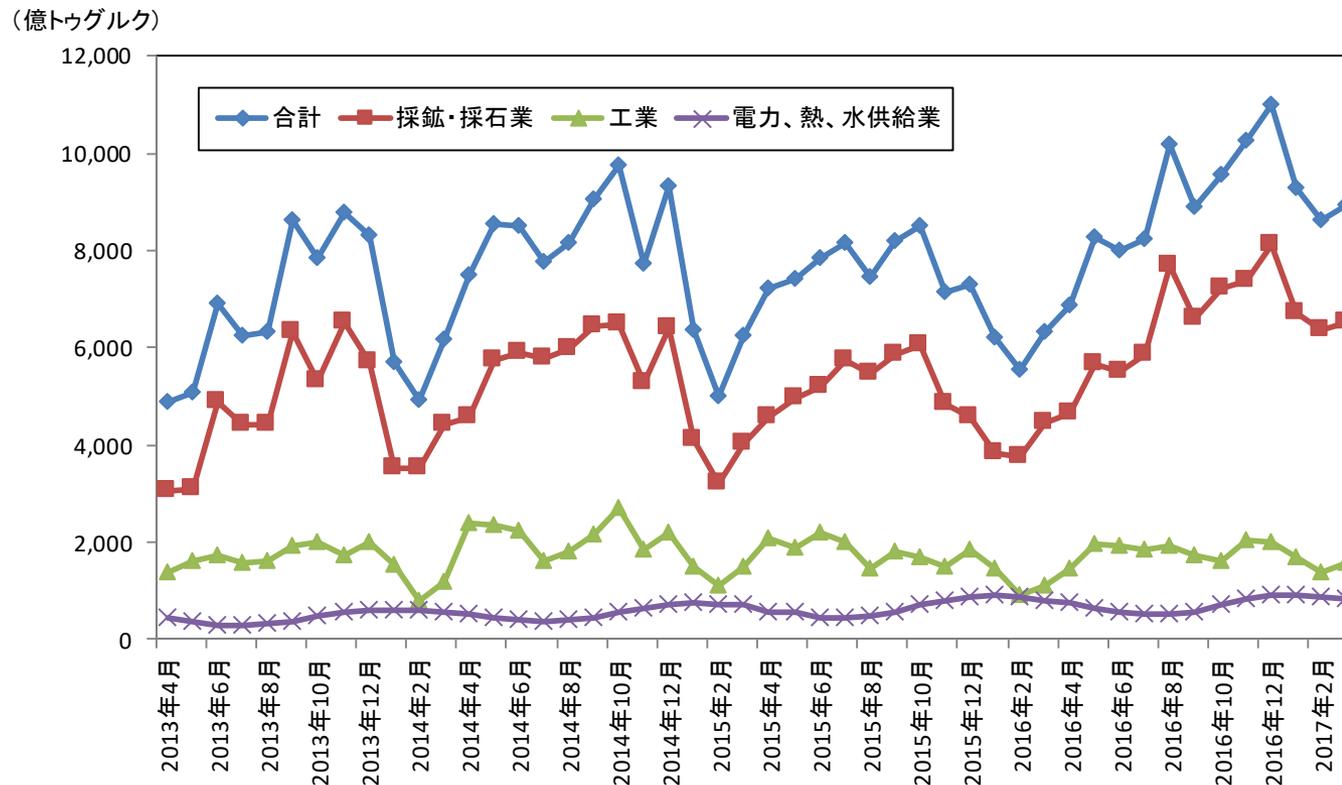
(100万ドル)



出所: 国家統計局

# 5. 名目鉱工業生産の伸び率

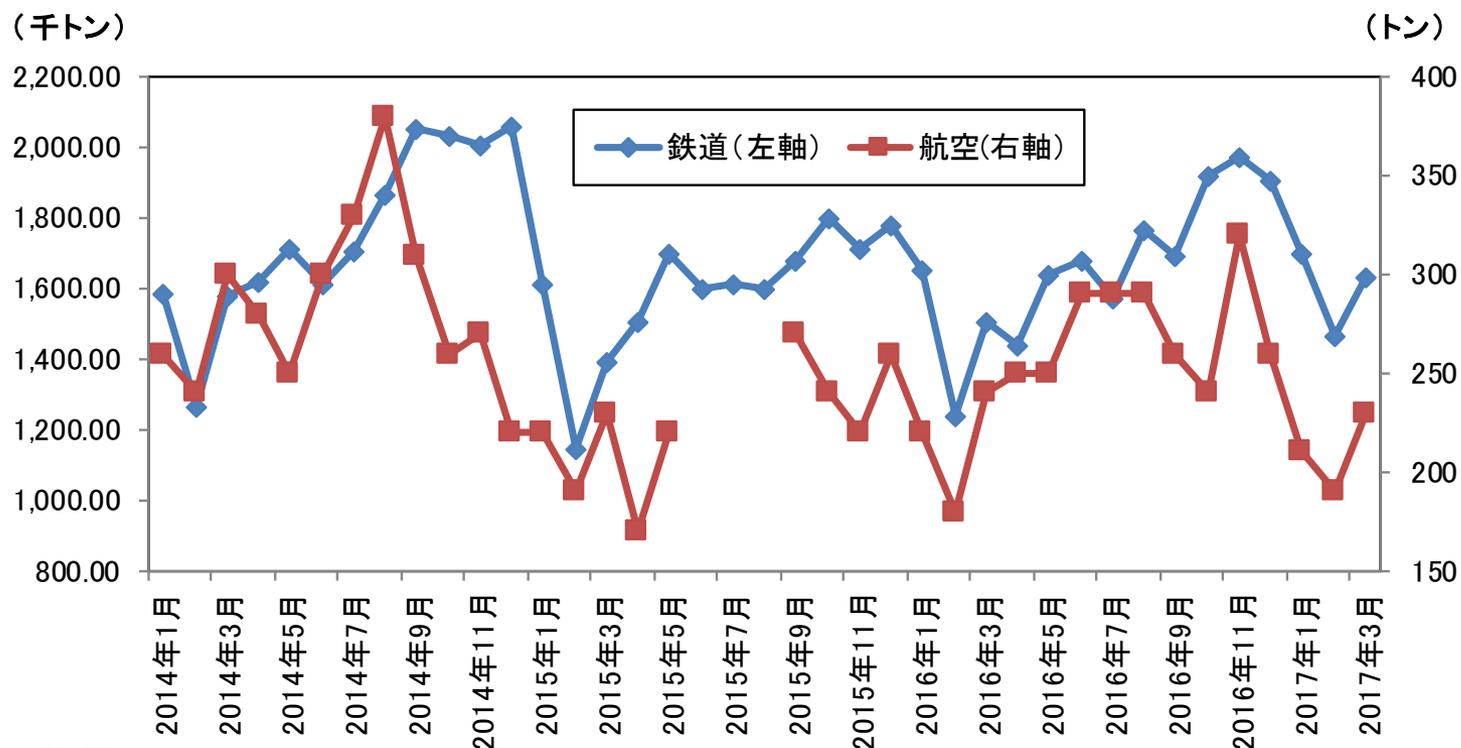
2017年1～3月における鉱工業生産は、前年比49.4%増の2兆6,972億トウグルクと急増した。これは、主に鉱工業生産の70%以上を占める鉱山業(採鉱・採石業)の生産が63.2%、7,588億トウグルク増加したことによってもたらされた。



出所: 国家統計局

# 6.貨物輸送量

2017年1～3月における貨物輸送量は、鉄道貨物輸送量は前年同期比10.9%増の479万トンとなった。航空貨物輸送量は0.8%減の631トンとなった。

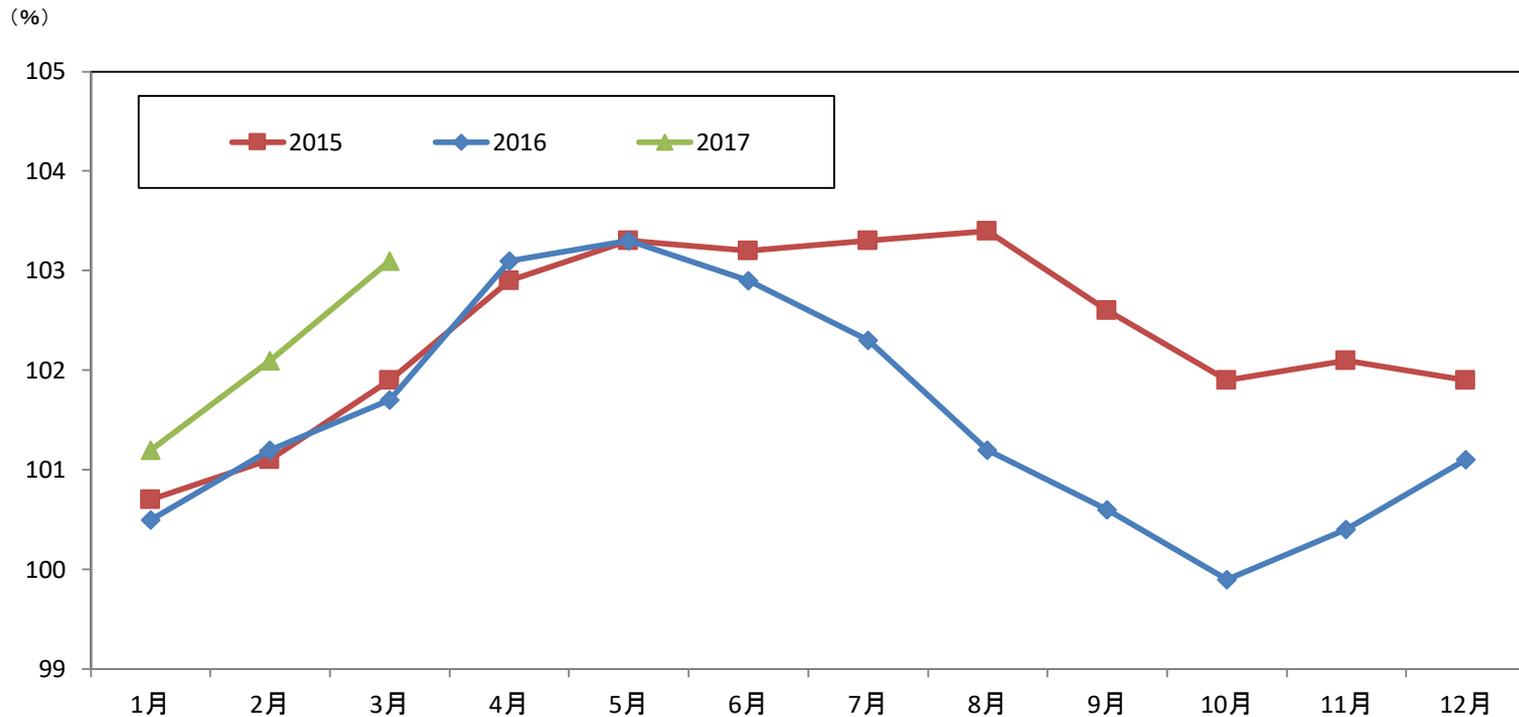


出所: 国家統計局

注: 2017年1～3月は速報値

# 7.物価(CPI)

2017年3月のCPI(全国)は前月比0.9%、前年同期比では2.5%上昇した。上昇の主な要因は食品および飲料・乳製品の価格上昇。



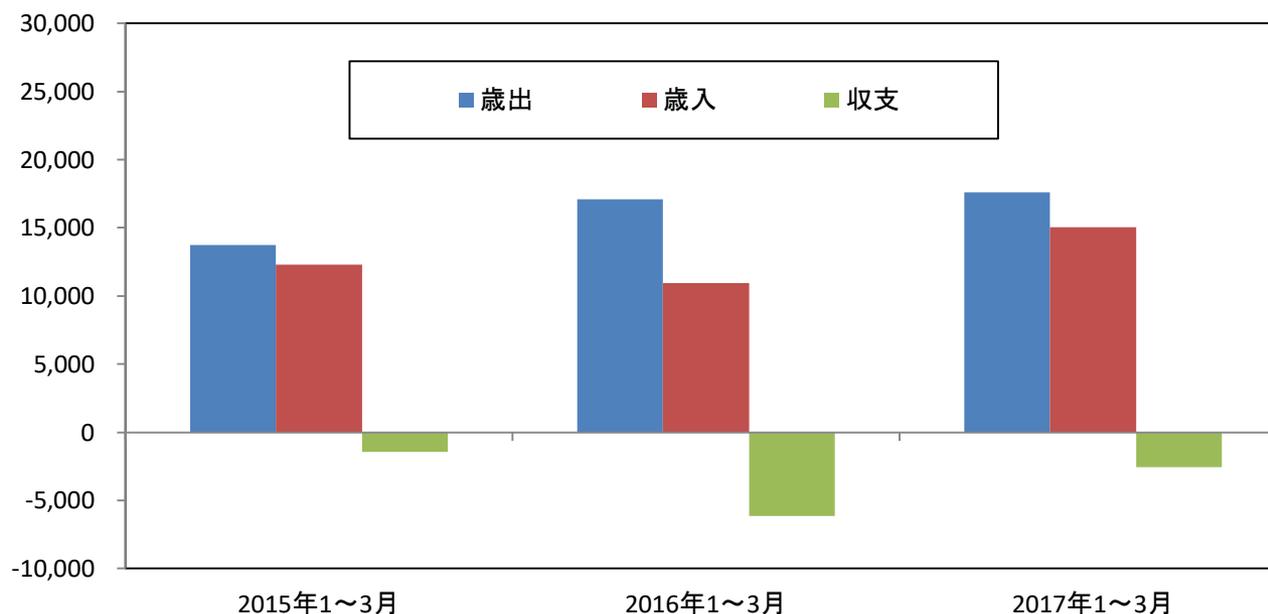
出所: 国家統計局

注: 前年末を100%とする指数

# 8.歳入・歳出伸び率の推移

2017年1～3月には、歳入が前年同期比39.9%増の1兆5,321億トウグルク、歳出が1兆7,592億トウグルクで、予算収支は2,271億トウグルクの赤字(前年同期からは3,606億トウグルク赤字額が縮小)を計上した。

(億トウグルク)

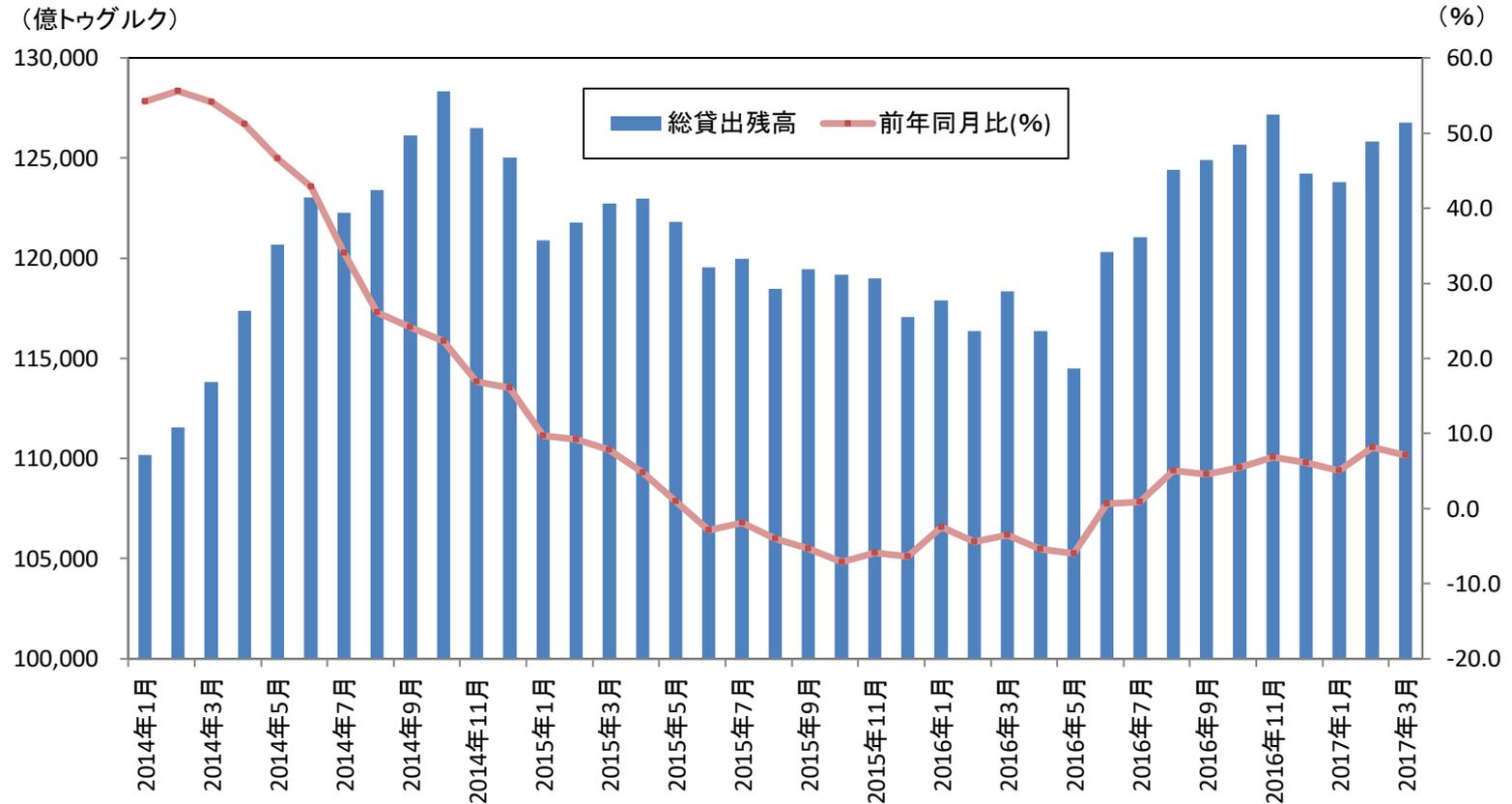


注: 2017年1～3月は速報値

出所: 国家統計局

# 9.貸出残高

2017年3月末の総貸出残高は、前年同期末比8,426 億トゥグルク(7.1%)増の約12兆7,000億トゥグルクだった。期限超過債券残高は、3.1%増の9,951億トゥグルクに達している。

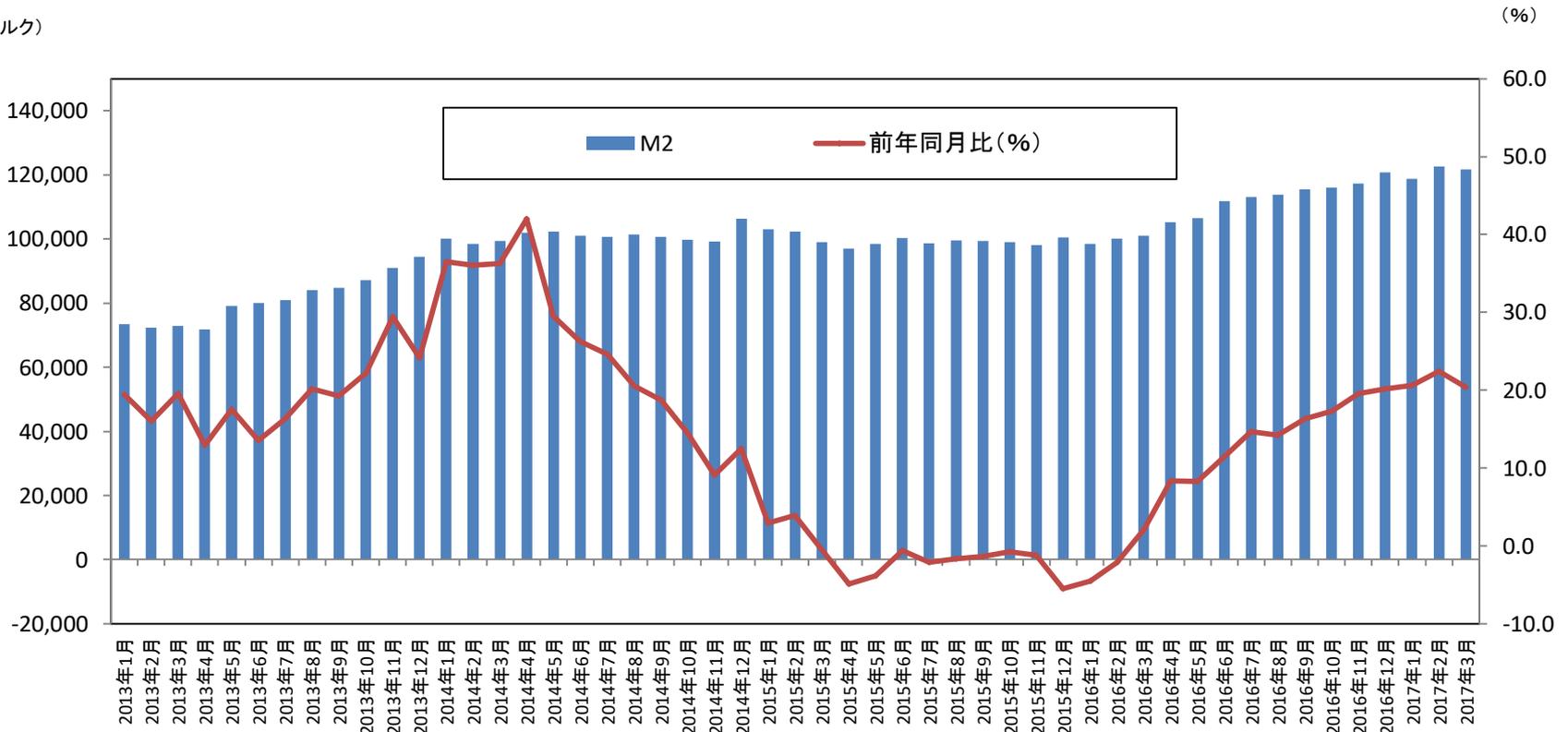


出所: モンゴル銀行

# 10.M2の推移

2017年3月末におけるマネーサプライ(M2)は、前年同月比2兆653億トゥグルク(20.4%)増注の12兆2,000億トゥグルクだった。

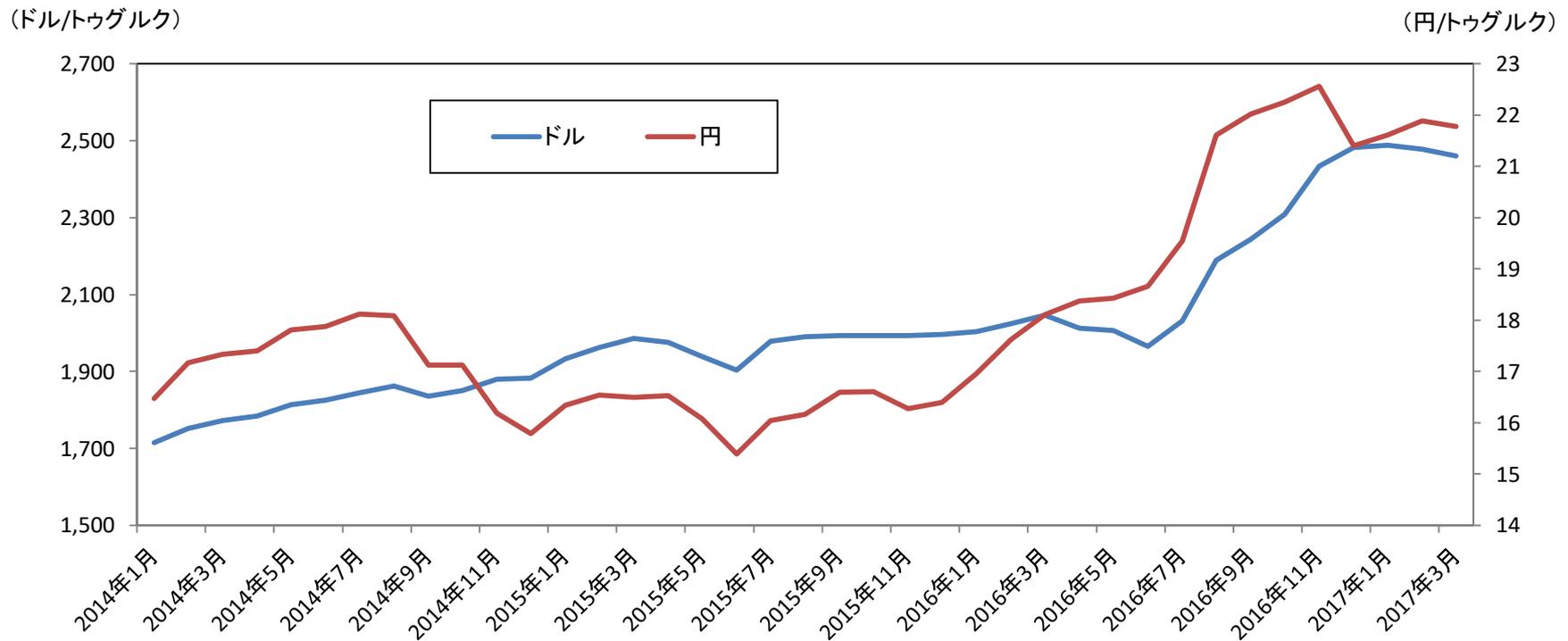
(億トゥグルク)



出所: モンゴル銀行  
注: 速報値

# 11. 対ドル・対円の為替レート

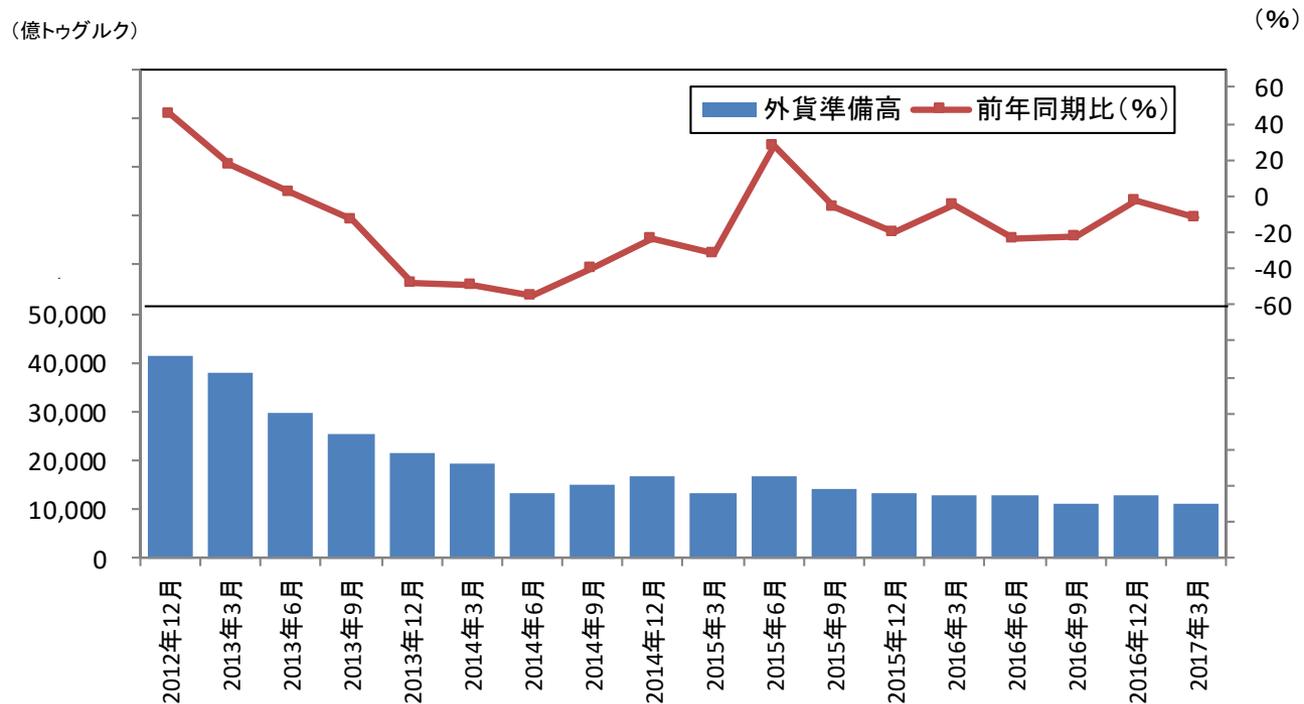
2017年1月からドル高・円高が減速し、2017年3月に1円=21.78トゥグルク、1ドル=2,459.55トゥグルクとなった。



出所: モンゴル銀行

# 12.外貨準備高

2017年3月末時点におけるグロス外貨準備高は、前年同期比1億5,610万ドル(12.3%)減の11億920万ドルとなった。



出所: モンゴル銀行

# 13.主要輸出入品目

2017年1～3月の主要輸出品目の中で、石炭の輸出額が約5.5倍となり増加が目立った。主要輸入品目は軒並み増加した。うち機械器具、電気製品が42.6%増、自動車およびその製品が39.8%増、ディーゼルが126%増となった。

(単位:100万ドル)

品目	2015年1～3月	2016年1～3月	2017年1～3月	前年同期比
輸出	1,077.7	959.0	1,299.9	35.5%
鋳物	871.1	733.4	1,159.9	58.2%
石炭	141.3	99.2	541.3	445.7%
卑金属および同製品	18.2	14.6	24.1	65.1%
皮革および毛皮並びにこれらの製品	11.5	12.6	10.5	-16.7%
生地およびその製品	20.9	22.5	24.6	9.3%
石、人造石、貴金属および宝石	98.2	111.7	43.7	-60.9%
輸入	701.7	599.1	776.2	29.6%
鋳物	198.5	129.2	192.0	48.6%
ガソリン	71.0	40.3	59.2	46.9%
ディーゼル	77.4	35.2	79.6	126.1%
自動車および同部品	64.5	69.3	96.9	39.8%
機械器具、電気製品	125.4	123.1	175.5	42.6%

出所: 国家統計局

# 14. 主要輸出相手国

2017年1～3月における主要輸出相手国のうち、輸出金額で1位の中国は前年同期比54.6%増となり、構成比が92.9%となった。構成比は前年同期比11.4ポイント拡大した。2位の英国は36.8%減で、構成比が4.4%と5.1ポイント縮小した。

国名	2015年1～3月		2016年1～3月		2017年1～3月	
	合計 (千ドル)	構成比 (%)	合計 (千ドル)	構成比 (%)	合計 (千ドル)	構成比 (%)
合計	1,077,741.1	100.0	958,957.4	100.0	1,299,905.8	100.0
中国	888,658.5	82.5	781,210.0	81.5	1,207,686.7	92.9
英国	104,573.3	9.7	90,762.2	9.5	57,405.7	4.4
ロシア	26,248.1	2.4	10,833.1	1.1	10,822.8	0.8
シンガポール	3,776.7	0.4	2,300.7	0.2	5,817.7	0.4
イタリア	6,042.7	0.6	3,068.4	0.3	5,109.8	0.4
ドイツ	3,452.7	0.3	32,919.6	3.4	2,581.9	0.2
日本	1,101.9	0.1	2,422.5	0.3	2,503.3	0.2
米国	2,254.6	0.2	1,906.5	0.2	1,933.1	0.1
韓国	21,108.6	2.0	1,121.3	0.1	1,043.1	0.1
イラン	-	-	-	-	689.6	0.1
北朝鮮	691.8	0.1	-	-	642.7	0.0
フランス	885.7	0.1	484.0	0.1	606.2	0.0
ベルギー	23.4	0.0	33.2	0.0	581.5	0.0
オランダ	156.9	0.0	32.0	0.0	313.0	0.0
インド	823.6	0.1	585.9	0.1	272.7	0.0
その他	17,942.5	1.5	31,278.1	3.2	1,896.2	0.4

注：2017年1～3月は速報値

出所：国家統計局

# 15.主要輸入相手国

2017年1～3月における主要輸入相手国のうち、前年同期比45.0%増のロシアが中国を抜いて1位となった。日本は36.4%増で3位であった。

国名	2015年1～3月		2016年1～3月		2017年1～3月	
	合計 (千ドル)	構成比	合計 (千ドル)	構成比	合計 (千ドル)	構成比
合計	701,732.8	100.0	599,053.0	100.0	776,227.0	100.0
ロシア	209,786.2	29.9	158,698.6	26.5	230,162.8	29.7
中国	220,191.8	31.4	190,799.6	31.9	228,463.8	29.4
日本	59,588.7	8.5	54,785.7	9.1	74,730.1	9.6
韓国	47,603.8	6.8	35,241.4	5.9	35,785.6	4.6
米国	22,718.1	3.2	22,805.8	3.8	27,821.2	3.6
ドイツ	19,999.7	2.9	25,158.9	4.2	23,229.5	3.0
ベラルーシ	1,469.4	0.2	3,562.0	0.6	11,687.1	1.5
スウェーデン	3,385.2	0.5	1,450.6	0.2	10,482.3	1.4
ポーランド	6,268.2	0.9	7,021.4	1.2	10,028.6	1.3
カザフスタン	6,453.1	0.9	7,509.6	1.3	8,511.1	1.1
イタリア	5,841.4	0.8	6,116.4	1.0	8,498.7	1.1
ベトナム	4,998.2	0.7	7,225.0	1.2	7,324.0	0.9
マレーシア	9,501.5	1.4	7,510.5	1.3	6,937.2	0.9
スイス	1,968.7	0.3	1,708.2	0.3	6,789.2	0.9
トルコ	9,047.8	1.3	5,167.6	0.9	6,788.0	0.9
その他	72,911.2	10.3	64,291.7	10.6	78,987.5	10.1

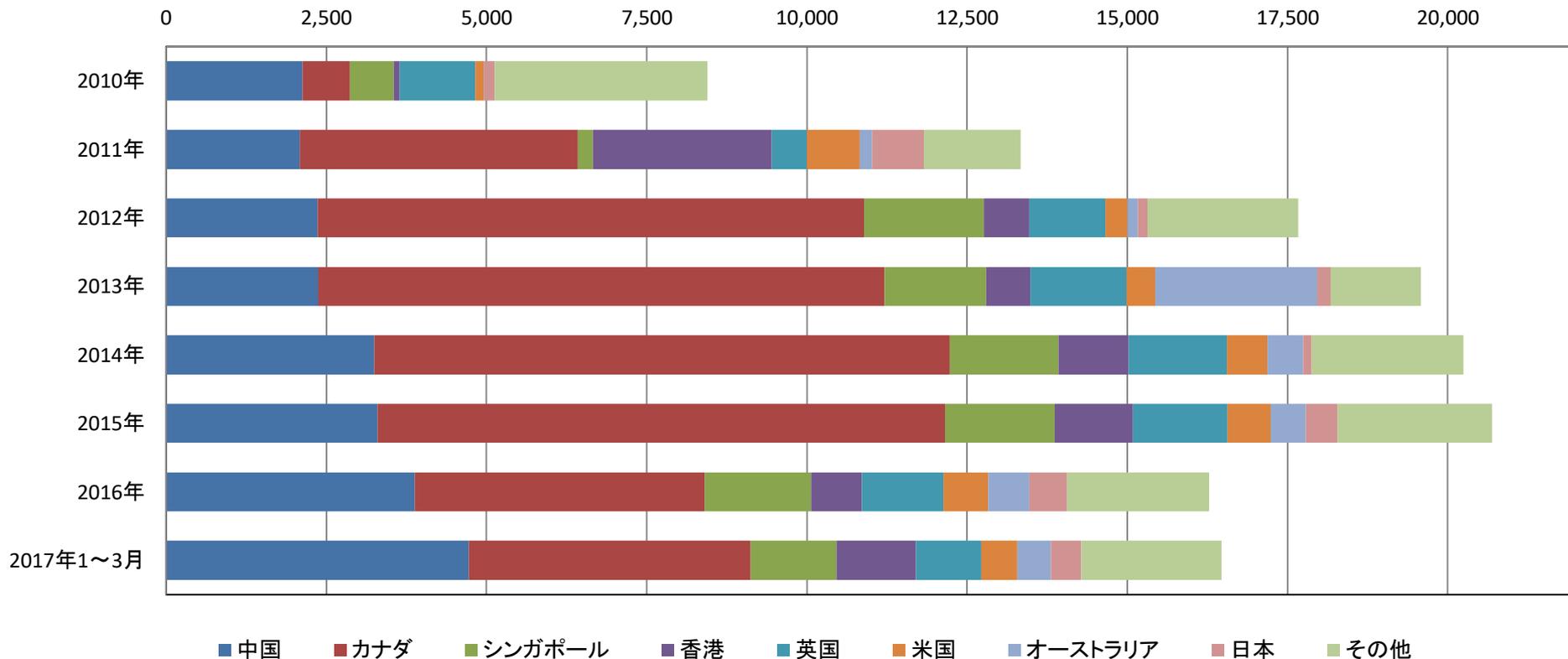
注：2017年1～3月は速報値

出所：国家統計局

# 16. 主要国・地域別直接投資残高

2017年1～3月における直接投資残高は、2016年12月末比1.19%増の164億7,197万ドル。主要国別では、中国、カナダ、シンガポール、香港、英国の5カ国・地域合計の直接投資が約127億ドルで、全体の77.22%を占めている。

(100万ドル)



出所: モンゴル銀行

# 17.主要国・地域別投資企業数

モンゴル政府・投資局によると、2015年8月現在の主要国・地域別の直接投資企業数は、合計1万3,326社。このうち、中国が6,549社、全体の約5割を占めて最大。次いで韓国(2,333社)、ロシア(860社)、**日本(557社)**、米国(305社)等の順となっている。

なお、外務省が実施している海外在留邦人数調査統計(平成29年版(2016年10月))によると、日本企業の支店開設数:支店1社、駐在員事務所53社、現地法人化した企業等数:329社であった。

# 18.主要業種別投資企業数

2015年8月現在、主要業種別の直接投資企業数の構成は、貿易・レストランが9,312社で全体の7割を占める。このほか、鉱業(416社)、エンジニア施設・建築材料生産(399社)、観光(318社)、軽工業(190社)、食料品生産(182社)、家畜産業の原料加工業(158社)、輸送(134社)、通信(110社)等となっている。

# 19. 日系企業進出事例

## ハーン銀行が預金残高・総資産・利益高で業界1位に

事業名: ハーン銀行

日本側の企業: 澤田ホールディングス(41.3%)、エイチ・エス証券(13.1%)

モンゴル側の企業: タバン・ボグド・トレード有限会社(22.96%)

事業: 金融サービス

創業: 1991年

総資産: 6兆4808億トウグルク

総貸出残高: 3兆930億トウグルク

支店数: 537店舗(モンゴル最大)



ハーン銀行の総資産は、2017年第1四半期には2016年12月末比1.5%増加し約6.5兆トウグルクに上り、銀行分野の総資産の26.1%を占めるようになった。同銀行の預金残高は約4兆トウグルクで、総預金残高の34%を占めている。同期におけるハーン銀行の純利益は、前年同期比3.6倍の340億トウグルクを計上し、約306億トウグルクの純利益を計上した貿易開発銀行と合わせて銀行分野の総純利益の85%を占める勢いである。

出所: [KHAN銀行ホームページ](#)

# 20. モンゴル企業の動向



Нүүр

Танилцуулга

Заавар

Урамшуулал

Бидний тухай

Холбоо барих

ТУСЛАМЖ

## フィンテック・ベンチャーが 既存の金融業界の挑戦を加速する

モンゴルのフィンテック・ベンチャー アンドシステムズがAIを駆使した一般ユーザー向けのアプリLendMNをリリースした。アンドシステムズは、モンゴル初の専門R&Dベンチャー。2014年から開発を進めてきたLendMNアプリは、AI技術の活用、スピード、無担保、ボーナス制を特徴とする。

会社名: “アンド・システムズ”  
事業内容: フィンテック、R&D  
設立: 2014年  
本社所在地: モンゴル、ウランバートル  
商品名: LendMN無担保借入用アプリ  
特許取得: 2015年  
サービス導入: 2016年第3四半期から

Г дараад

TATAЖ АВАХ

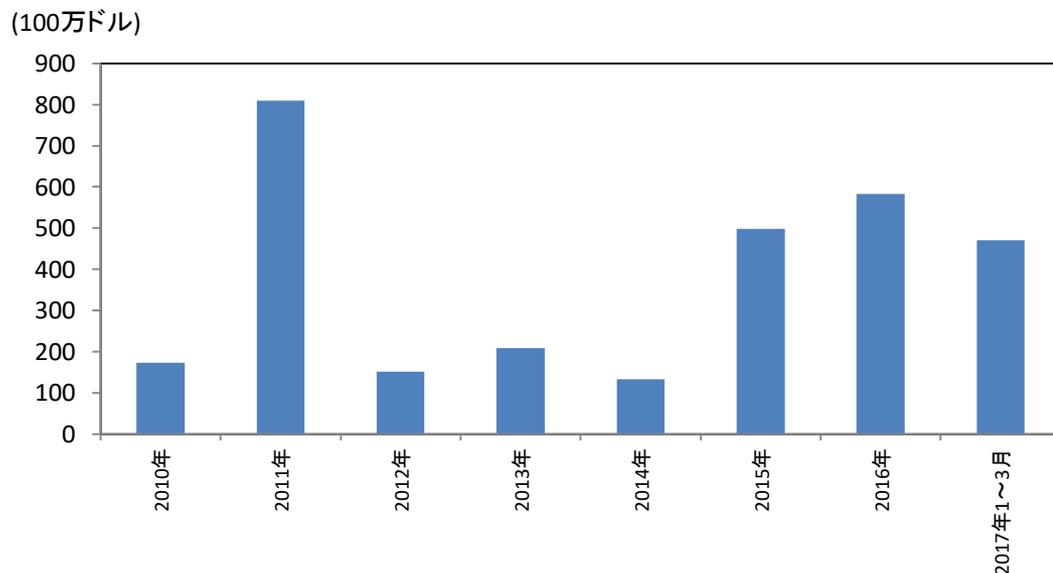
АШИГЛАХ ЗААВАР

使い方:  
借入額: 5万-100万トウグルクまで  
借入期間: 30日まで  
貸し付け決定までの所要時間: 5分  
特徴: 無担保、無利息(貸し付け手数料のみ)  
信頼度が高いユーザーの借入限度額が繰り上げられる



# 21. 日本からの直接投資

2017年3月末における日本からの直接投資残高は、4億7,033万ドルとなった。日本からの主要企業は、通信、銀行、製造、鉱業、鉱山機械・建設機械の販売、建設やエネルギーなどの分野となっている。



出所: モンゴル銀行

## 主要投資企業名 (順不同)

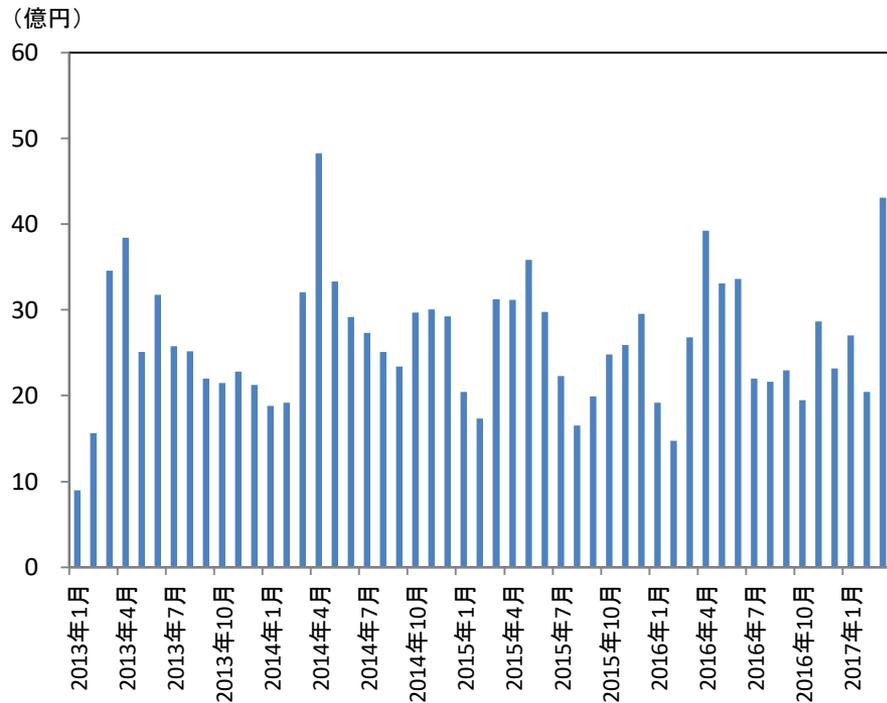
KDDI  
澤田ホールディング  
賛光精機  
丸紅  
双日  
三菱商事  
住友商事  
スルガコーポレーション  
会沢高圧コンクリート  
ネクサス  
旭栄工務、  
いずみガーデン  
東海運  
SBエナジー  
KPMGあずさ監査法人  
サイサン  
日産自動車  
オリックス

出所: [日本モンゴル貿易投資データブック2013](#)

# 22. 日本との貿易概況

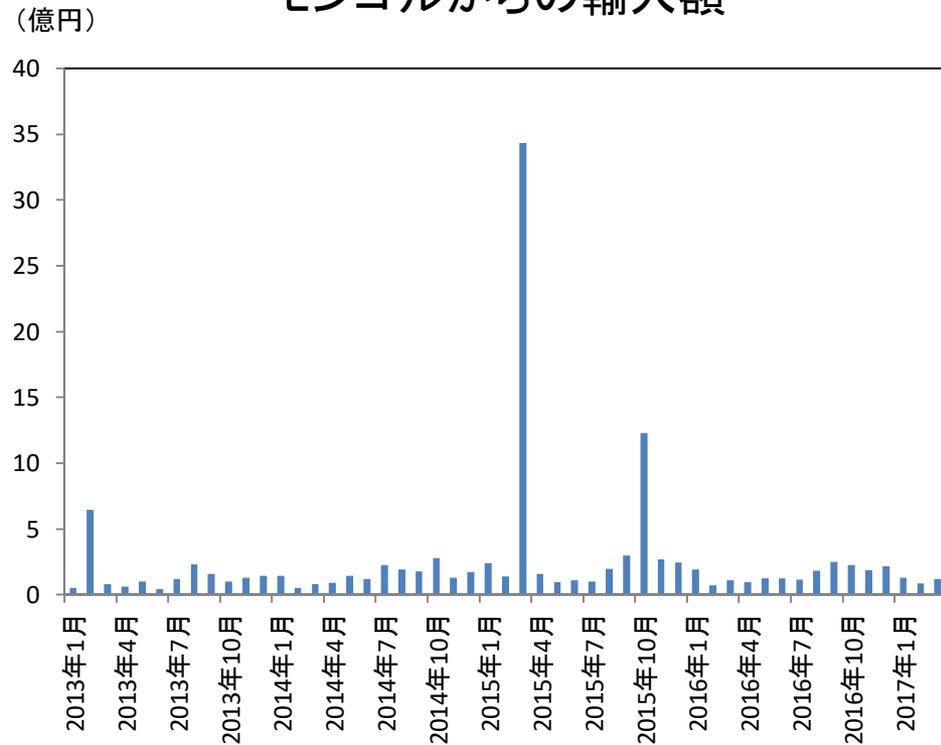
貿易額について日本側の統計をみると、2017年1～3月の輸出は前年同期比23.9%増の90億5,405万円、輸入は4.06倍の3億3,200万円となった。

### 日本からの輸出額



出所: 財務省貿易統計(日本)

### モンゴルからの輸入額



出所: 財務省貿易統計(日本)

レポートをご覧いただいた後、アンケート(所要時間:約1分)にご協力ください。

<https://www.jetro.go.jp/form5/pub/ora2/20170059>

本レポートに関する問い合わせ先：  
日本貿易振興機構（ジェトロ）  
海外調査部 中国北アジア課

〒107-6006 東京都港区赤坂1-12-32  
TEL : 03-3582-5181  
E-mail : ORG@jetro.go.jp

**禁無断転載**